



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 サンゲツ

コード番号 8130 URL <http://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安田 正介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 上原 健

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 052-564-3331

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	63,981	4.4	3,924	△4.4	4,218	△4.1	2,156	△19.9
26年3月期第2四半期	61,301	3.4	4,105	27.3	4,399	42.2	2,691	35.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 3,045百万円 (△7.1%) 26年3月期第2四半期 3,279百万円 (69.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	56.61	—
26年3月期第2四半期	70.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	144,333	121,147	83.9
26年3月期	145,903	119,887	82.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 121,147百万円 26年3月期 119,887百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
27年3月期	—	37.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	133,000	0.8	7,300	△18.5	7,700	△18.7	4,400	△19.4	115.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	40,188,240 株	26年3月期	40,188,240 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	2,089,014 株	26年3月期	2,088,851 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	38,099,323 株	26年3月期2Q	38,099,712 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(平成26年4月1日～9月30日)のわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減や消費の低迷が景気を下押しし、本格的な景気回復を実感し得ぬ状況でした。

当社事業に関連の深い住宅産業や建設業界は、新設住宅着工戸数が今年3月より6カ月連続で前年比減少するなど、需要は減退しています。

このような状況の下、当社グループでは施主、設計事務所への営業活動の強化や新見本帳の発刊に加え、非住宅分野への商品開発を積極的に行い、当第2四半期の連結業績は、売上高63,981百万円(前年同期比4.4%増)、売上総利益17,962百万円(同4.7%増)となりました。

しかしながら、事業活動の活発化による物流費、人材強化のための人件費、設備修繕費などの政策的なコストを計上したことにより、販売費及び一般管理費が981百万円増加し、その結果として営業利益は3,924百万円(同4.4%減)、経常利益は4,218百万円(同4.1%減)となりました。また、所有資産活用の見直しにより減損損失834百万円を計上した結果、当期純利益は2,156百万円(同19.9%減)となりました。

(インテリア事業)

壁装材については、収益性の改善の為、低価格の量産品より中級価格レンジの一般品への転換促進を目的に“プラスワンポイント”を提案するTVCMを放映しました。また、これに呼応し、主力見本帳「リザーブ」を発刊しました。新設住宅着工戸数の落ち込みなどで市場での需要が減少する環境の下、市場シェアを拡大する事で売上の前年比増を達成しました。また6月には値上げを実施し、原材料費などの高騰によって低下していた利益率は7月以降改善傾向にあります。この結果、壁装材の売上高は27,105百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

床材については、住宅、事務所、商業、教育、医療、介護など様々な施設で幅広い分野に使用される床材の営業活動の強化の為、営業体制の見直しを実行しました。これに合わせ、住宅用クッションフロアを掲載している「2014-2016 H-FL00R」、また各種施設向け長尺塩ビシートを掲載している「2014-2016 S-FL00R」の2つの主力見本帳を発刊し、売上の前年増を達成しました。新見本帳での価格政策の見直しと一部商品の9月1日よりの値上げにより、利益率改善に着手しております。この結果、床材の売上高は18,311百万円(同4.1%増)となりました。

カーテンについては、見本帳戦略、商品開発、プロモーション展開を抜本的に見直し、営業との連携を拡大することにより商品提案力を強化しました。昨年10月に発刊したカーテン見本帳「Mine」の価格政策の見直しにより、長期低迷していた売上は昨年度に続き、当第2四半期も拡大しました。この結果、カーテンの売上高は4,002百万円(同8.0%増)となりました。

これらの他、施工代などを含むその他の売上5,215百万円(同4.2%増)を加え、インテリア事業における売上高は54,633百万円(同3.7%増)、営業利益は3,641百万円(同11.2%減)となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンでは、主力分野であるフェンスに加えて、カーポートやサンルームの売上が前年比伸長しました。平成25年に立ち上げた自社ブランドにエクステリアの新商品をラインアップ。さらに関東への新たな足掛かりとして今年2月に開設した横浜支店も順調に関東地区での売上を拡大しました。

これらの結果、エクステリア事業における売上高は7,512百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益は260百万円(同24.3%増)となりました。

(照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社においては、経営ガバナンスの改善、社員のモチベーション向上策を実行しつつ、商品数の削減に取り組むとともに在庫管理を強化しました。事業対象を非住宅と明確化の上、更に注力すべき分野や商品の絞り込みを進めました。総利益の拡大及び積雪被害に対する保険金入金により黒字に転換しましたが、継続して収益力向上を進めています。

これらの結果、照明器具事業における売上高は1,867百万円(前年同期比15.7%増)、営業利益は30百万円(前年同期は営業損失207百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、前期末に比べて1,570百万円減少し、144,333百万円となりました。また純資産は121,147百万円となり自己資本比率は83.9%となりました。

現金及び現金同等物は、前期末に比べ3,583百万円増加し、15,917百万円となりました。

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは3,591百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,338百万円と季節変動による売上債権の減少額4,668百万円などの収入、法人税等の支払額2,907百万円などの支出があったことを反映したものです。

投資活動の結果得られたキャッシュ・フローは1,433百万円となりました。これは主に、投資有価証券の新規取得と償還との差額収入993百万円などによるものです。

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは1,441百万円となりました。これは主に、配当金の支払額1,428百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年5月8日に公表しました平成27年3月期の通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が551百万円増加し、利益剰余金が356百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,919	22,480
受取手形及び売掛金	45,496	40,827
有価証券	15,002	24,003
商品及び製品	9,573	10,657
原材料及び貯蔵品	1,377	1,642
その他	1,104	918
貸倒引当金	△160	△143
流動資産合計	91,313	100,386
固定資産		
有形固定資産		
土地	20,182	19,412
その他(純額)	10,121	10,325
有形固定資産合計	30,304	29,737
無形固定資産		
その他	346	340
無形固定資産合計	346	340
投資その他の資産		
投資有価証券	15,464	6,722
その他	9,268	7,950
貸倒引当金	△795	△804
投資その他の資産合計	23,938	13,868
固定資産合計	54,590	43,946
資産合計	145,903	144,333

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成26年 9 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,389	12,722
1年内返済予定の長期借入金	22	23
未払法人税等	3,010	1,531
賞与引当金	1,006	1,058
その他	2,486	2,188
流動負債合計	20,914	17,524
固定負債		
長期借入金	92	81
役員退職慰労引当金	84	87
退職給付に係る負債	3,654	4,215
資産除去債務	342	344
長期末払金	418	392
その他	508	540
固定負債合計	5,101	5,661
負債合計	26,016	23,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	89,633	90,005
自己株式	△4,588	△4,589
株主資本合計	118,667	119,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,907	2,745
退職給付に係る調整累計額	△687	△636
その他の包括利益累計額合計	1,220	2,108
純資産合計	119,887	121,147
負債純資産合計	145,903	144,333



( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

( 四半期連結損益計算書 )

( 第 2 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日 )
売上高	61,301	63,981
売上原価	44,139	46,018
売上総利益	17,161	17,962
販売費及び一般管理費	13,056	14,037
営業利益	4,105	3,924
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	45	53
受取保険金	1	126
不動産賃貸料	43	42
その他	196	77
営業外収益合計	301	316
営業外費用		
支払利息	0	0
手形売却損	2	2
その他	3	19
営業外費用合計	7	22
経常利益	4,399	4,218
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	19	46
減損損失	—	834
その他	—	0
特別損失合計	19	880
税金等調整前四半期純利益	4,386	3,338
法人税、住民税及び事業税	1,822	1,504
法人税等調整額	△127	△322
法人税等合計	1,695	1,181
少数株主損益調整前四半期純利益	2,691	2,156
四半期純利益	2,691	2,156

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,691	2,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	588	837
退職給付に係る調整額	—	50
その他の包括利益合計	588	888
四半期包括利益	3,279	3,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,279	3,045

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,386	3,338
減価償却費	463	559
減損損失	—	834
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	35	△8
受取利息及び受取配当金	△59	△69
支払利息	0	0
受取保険金	△1	△126
為替差損益 (△は益)	△51	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	4,711	4,668
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△396	△1,349
仕入債務の増減額 (△は減少)	△567	△1,666
その他	△142	118
小計	8,379	6,299
利息及び配当金の受取額	80	72
利息の支払額	△1	△0
保険金の受取額	0	126
法人税等の支払額	△2,073	△2,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,385	3,591
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△7,173	△6,287
定期預金の払戻による収入	9,741	6,311
有形固定資産の取得による支出	△1,092	△885
無形固定資産の取得による支出	△97	△56
投資有価証券の取得による支出	△11,354	△3,006
投資有価証券の償還による収入	8,000	4,000
長期預金の払戻による収入	—	1,000
保険積立金の積立による支出	△199	△199
保険積立金の解約による収入	—	352
その他	63	206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,113	1,433
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△13	△11
配当金の支払額	△1,543	△1,428
その他	△27	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,584	△1,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,739	3,583
現金及び現金同等物の期首残高	12,957	12,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,697	15,917

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	52,701	6,990	1,608	—	61,301
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	5	△5	—
計	52,701	6,990	1,614	△5	61,301
セグメント利益又は 損失 (△)	4,102	209	△207	0	4,105

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	54,633	7,511	1,835	—	63,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	31	△32	—
計	54,633	7,512	1,867	△32	63,981
セグメント利益	3,641	260	30	△8	3,924

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「インテリア事業」セグメントの事業用資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことにより、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、834百万円であります。